

2018.9.6 山陰中央新報

原発立地並み協定へ 鳥取県に調整求める

市民団体

中国電力島根原発（松江
市鹿島町片匂）の稼働に反
対する市民団体「島根原発
・エネルギー問題県民連絡
会」（北川泉代表世話人）

が5日、鳥取県の平井伸治
知事に対し、島根側を含む
原発から30^{キロ}圏内の周辺5
市とともに立地自治体並み
の安全協定の早期締結に努
めるよう要請した。

連絡会は、2号機の新規
制基準適合性審査が終わる
までに中電と締結する必
要があると指摘。期限を明
確にし、鳥取県が周辺5市
との協議を通じて合意形成
を図り、島根県との意見調
整を早期に行うよう求め
た。

鳥取市東町1丁目の鳥取
県庁で応じた同県の水中
進一原子力安全対策監は
「知事に伝える。いたたい
た意見は参考にしたい」と
述べた。（系賀淳也）